

1 背景・現状

- 社会のグローバル化が加速する中、アイデンティティ（主体性、自己同一性）の醸成を図りながら、ふるさと鳥取県に誇りと愛着を持ち、郷土を支える人材の育成が求められている。
- 学校現場においては、次のような法令、計画等に基づき「ふるさと教育」を実施している。
学校教育法 ⇒ 「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う」
学習指導要領⇒（例）小学校社会科「地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土と歴史に対する愛情を涵養することは、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛することなどにつながるものである」
鳥取県教育振興基本計画⇒「ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力」の育成を目指す
 - ・ふるさとの自然、歴史と伝統を守り、受け継ごうとする姿勢
 - ・地域やふるさとに誇りと愛着を持ち、その発展に貢献しようとする姿勢
- 今後も人口減少社会が予想され、県議会や鳥取産業人材育成強化会議などの様々な場面において、若者の県外流出が大きな課題となっており、人口減少への歯止めをかける対策が急務となっている。

2 ふるさと教育の現状（別紙参照）

- 各教科領域において、「ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力」の育成を図る取組が行われている。
- 各市町村において、副読本を作成したり、地域の方々をゲストティーチャーとして活用したりするなど、地域の特色を活かした取組が進められている。

3 成果と課題

〔数値はH30 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より抜粋（ ）は全国平均〕

【成果】地域の行事やボランティア活動に参加したことがある児童生徒は全国平均より大きく上回っており、子どもたちと地域の結びつきが強いことがうかがえる。

- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答をした児童生徒の割合が高い。
小学校 78.2% (62.7%) +15.5% 中学校 53.6% (45.6%) +8.0%
- ・「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」に肯定的な回答をした児童生徒の割合が高い。 小学校 44.8% (36.1%) +8.7% 中学校 59.6% (51.8%) +7.8%

【課題】地域や社会に関心を持ったり、良くするために何をすべきかを考えること、また、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が低く、より良い社会づくりへの意欲の醸成に課題がある。

- ・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に肯定的な回答をした児童生徒の割合が低い。 小学校 46.5% (49.9%) -3.4% 中学校 37.2% (38.7%) -1.5%
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的な回答をした児童生徒の割合が低い。
小学校 81.5% (85.1%) -3.6% 中学校 71.3% (72.4%) -1.1%

4 対応策（案）

①校種間の連携強化・横展開

⇒【新規】ふるさと教育の体系化及び児童生徒用「鳥取県版ふるさと教育読本」（仮称）の作成・活用

- ・市町村や学校単位での取組を活かしながら校種間連携を進め、鳥取県として小中高で一貫したふるさと教育の体系を整理するとともに、義務教育から高等学校への探究的な学びへの接続を図る。
- ・鳥取県民ならだれでも知っているような人物、事柄等を集めた児童生徒用「鳥取県版ふるさと教育読本」（仮称）を作成し、全県で共通して取り組む授業の進め方（スタンダードモデル）を検討する。

②郷土愛や志を持つ児童生徒の育成に向けた取組の推進

⇒【新規】児童生徒のあこがれや目標となる人と出会う機会の提供

- ・全国で活躍している鳥取県出身者や地元で活躍している者を招聘し、将来の夢や目標を持つ態度を育成するための講演会やシンポジウム等の開催を通して、地域やふるさとに誇りや愛着を持ち、将来の地域を担う人材の育成を図る。

「ふるさと教育」の実施状況について

<別添2-1>

平成30年9月10日
小中学校課

鳥取市	<p>「総合計画」あるいは「教育振興基本計画」「教育大綱」等に示されている「ふるさと教育」に関する記載</p> <p>鳥取市教育振興基本計画</p> <p>○基本理念 「ふるさとを思い 志をもつ子を育て、夢と希望に満ちた次代を“ひらく”！」 基本方針 II 「郷土愛を醸成し、豊かな心を育みます！」</p>	①副読本	<p>②自然体験、地域交流、地域学習</p> <p>○中山間ふるさと体験活動支援事業(特別活動(宿泊学習))【H30年度は小学校13校】 …佐治町の農山村での生活体験を通して、豊かな人間性や社会性などを育むことにもふるさととの自然や文化のすばらしさ、人の温かさにふれることにより、児童にふるさとのよさを実感させる。 ○砂丘探究【総合】(義務教育学校後期課程) …砂丘を訪れた観光客にインタビューし、砂丘のガイドマップを作成する。それを英語に訳したものを作成し、修学旅行先の外国の方に声をかけ、配布する。 ○ラッキョウの生産と郷土産の紹介【特別活動(修学旅行)】(義務教育学校後期課程) …修学旅行先で外国の方に英語を使って地域をアピールする。</p>	<p>③その他 (キャリア教育、文化芸術との触れ合い等)</p> <p>○芸術の事前講座事業【音楽・国語・図工等】 (希望した小学校:H30は4校) …鳥取地域で活躍している文化活動者が小学校に outgoing、日頃の活動を活かして、学校では取組が難しい文化芸術活動を指導する。 ○地域で学ぶ職場体験活動事業 【総合等】(全中、義務教育学校後期課程)</p>
岩美町	<p>第10次岩美町総合計画・基本構想「岩美町教育大綱」</p> <p>○基本目標 「(2)ふるさとを想う心を育み 心豊かに暮らせるまち」</p>	<p>○ふるさと人物誌の活用(全小中)</p> <p>○八東川(又は私都川)の自然守り隊【総合】(小)</p> <p>…ジオパークに認定されている海岸での活動を通して、自分たちの住む地域のすばらしさを体感したり自然に親しんだりする。 ○海の学校(全校海水浴、遠泳、シュノーケリングなど)【特別活動(学校行事)】(小) …ジオパークに認定されている海岸で地域の方の協力によって活動することで、自然や人のすばらしさを感じる。 ○小田川に魚を【総合】(小) …地域の川が多くの人々の願いで守られていることを知り、自分たちにできることをしようとする。</p>	<p>○澤田廉三・美喜夫妻の生き方に学ぶ 【総合、道徳、特別活動(修学旅行)】(中) …エリザベスサンダースハウスホム創設者の澤田美喜さんの生き方を参考に人権意識を高める。 ○ふるさと先生に学ぶ【総合】(中) …地域で活躍する企業人を招いて仕事のやりがい等、勤労観を学ぶ。 ○調理実習【家庭】(小・中) …漁協婦人部の方をゲストティーチャーに招いて、魚のさばき方を指導していただく。</p>	<p>○若松町の魅力を発信【特別活動(修学旅行)】(中) …東京新橋駅前で、パンフレットやタブレットを使って若松町の魅力を発信する。 ○WSP(若松スマイルプロジェクト)清掃活動 【特別活動(児童生徒会活動)】(全小中) …町内の施設を、感謝の気持ちを含めて清掃する。 ○和太鼓学習【音楽】(全小中) …地域の太鼓の指導者に、地域の伝統文化を指導していただく。</p>
八頭町	<p>八頭町教育ビジョン</p> <p>○基本目標 「1 未来を切り拓く、明るく元気なやっ子づくり」 …郷土を愛しこれからの八頭町を担っていく自治力の高い人材である「やっ子」を育てます。</p>	<p>○八頭町立小・中学校道徳教材集「八頭町の道徳」の活用【道徳】(全小中)</p>	<p>○八東川(又は私都川)の自然守り隊【総合】(小) …身近な川での体験をしたり、川を守る人や様々な活動から考えたりし、自然豊かな地域のよさから学ぶ。 ○郷土をひらく 安藤井手【総合、社会】(小)【道徳】(全小) …地域の改善のために安藤井手を造った安藤伊右衛門の生き方から学び、地域への思いを深め、誇りを持つ。 ○八頭町の未来をえがこう【総合、国語】(全小) …町づくりの視点を学び、自分たちが考える八頭町を考え、意見を発表する。町長に伝えたい学校もある。</p>	<p>○森下広一マラソン大会【体育】(小中) ○地域企業協力によるプログラミングクラブ 【特別活動(クラブ活動)】(全小) ○月の観察【理科】(小) …地域の方の指導で、本町出身の世界的天文家(本田貴氏)の望遠鏡を使って観察をする。</p>
若桜町	<p>若桜町教育大綱</p> <p>○基本目標 III「子どもたちを支える教育環境づくり」 ③ふるさと若桜の特色ある学校づくりの推進</p>		<p>○シンボジウム「今も未来も住みたい町若桜町を目指して」【総合】(全小中) …若桜の町の現状を調べ、さらに住みよい町にするための提案をし、その実現に向けて考え、取り組む。 ○形板かるた【総合】(小) …かるたを使って、地域の文化財や有名な場所の学習をする。 ○森林の町若桜～若桜の自然を探検しよう～【総合】(小) …水ノ山の自然を探索しながら、水ノ山登山をする。</p>	<p>○若桜町の魅力を発信【特別活動(修学旅行)】(中) …東京新橋駅前で、パンフレットやタブレットを使って若桜町の魅力を発信する。 ○WSP(若松スマイルプロジェクト)清掃活動 【特別活動(児童生徒会活動)】(全小中) …町内の施設を、感謝の気持ちを含めて清掃する。 ○和太鼓学習【音楽】(全小中) …地域の太鼓の指導者に、地域の伝統文化を指導していただく。</p>

「ふるさと教育」の実施状況について

〈別添2-1〉

<p>智頭町</p>	<p>第7次智頭町総合計画 ○基本計画 「施策3 郷土愛を育てられるように」 「倉吉に誇りと愛着を持つ子ども育成」</p>	<p>○郷土資料「わたしたちのふるさと」と「智頭町」の活用【社会・総合】 ○郷土資料「ふるさと」に学ぶ林業副読本「山形地区振興協議会」の活用【総合】(小)</p>	<p>○もちもちの木プロジェクト【総合】(小) …トチの苗の植樹、トチの実拾い、餅つき(トチ餅)などをとおして、トチの森づくりに関わる。 ○智頭の森林に学ぶ【総合】(小) …智頭林業資料展示室(旧山形小)の見学や枝打ち作業の体験を通して、智頭林業について理解を深める。 ○智頭町歴史発見、智頭の取組から学ぶ【総合】(小) …智頭町の歴史や取組に学び、地域と自分の関わりを見つめる。</p>	<p>○ちづつスマイルプロジェクト【総合】(中) …智頭町の活性化につながる取組を企画し、智頭町百人委員会に提案して自分たちの手で実践する。 ○地域に学ぶワグワグちづつ【総合】(中) …地域での職場体験を通して、地域の方とふれあいがながら働くことの意味を学ぶ。</p>
<p>倉吉市</p>	<p>「教育振興基本計画」 ○重点施策 「倉吉に誇りと愛着を持つ子ども育成」</p>	<p>○小学生郷土読本「わたしたちの倉吉」の活用(全小) ○中学生郷土読本「くらしよし風土記～倉吉学入門」の活用(全中)</p>	<p>○菜の花プロジェクト【生活・総合】(全小中) …ふるさと倉吉を象徴する花として、地域の方と協働して種を蒔いたり、地域の方に花を配ったりする。 ○「地域のこともっと知ろう」(太一車、ボラ茶等)【総合】(小) …地域で誇ることができる歴史や文化について話を聞いたり、体験をしたりする。 ○「ふるさと発見ウォークラリー」【総合】(中) …地域の名所を縦割りグループで巡り、ふるさとのよさを再発見する。</p>	<p>○郷土芸能【牛追いかけ節、みつぼし踊り】【総合】(小) …地域で伝承される郷土芸能について、地域の方から話を聞いたり、体験したりする。 ○「社会人講師」に学ぶ【総合】(中) …人と接するときの心構えや礼儀について学ぶ。 ○「看護の出前授業」【総合】(中) …看護職の仕事についての話を聞いたり、と簡単な看護技術体験したりする。</p>
<p>3 湯梨浜町</p>	<p>「第3次湯梨浜町総合計画」 ○主要事業 「ふるさと教育の推進」</p>	<p>○小学校社会科副読本湯梨浜版(3、4年生向け)を作成中</p>	<p>○東郷池学習【総合】(小) …東郷池を中心とする自然、環境、観光、産業についての調べ学習や体験活動。 ○わかめ栽培活動【総合】(小) …海の環境を守ることや地域の産業への関心を高めるために、栽培漁業センターと漁業協同組合の協力を得て、泊漁港でわかめを栽培する。 ○梨づくり体験学習【総合】(小) …地元名産の梨の袋かけや収穫を行うことで梨づくりについて学ぶ。</p>	<p>○全校なかよしグラウンド・ゴルフ大会 【特別活動(児童会活動)】(小) ○伝統芸能の継承【総合】(中) …伝統芸能を地域の指導者から学び、文化祭や地域行事等で発表する。</p>
<p>三朝町</p>	<p>「三朝町教育大綱」 ○基本理念を支える6つの目標 「2 郷土に学び、郷土を誇れる子どもを育てる教育」</p>	<p>○三朝町小学校副読本「わたしたちの町 みささ」の活用</p>	<p>○三徳山投人堂参山【総合】(小) ○三徳山散策【遠足】(小)…全校遠足で三徳山宝物殿や寺院見学を実施 ○温泉街探検【総合】(小)</p>	<p>○ふるさとの芸術家を生かした取組【美術】(中) …北菜みらい伝承館での企画展示(前田寛治他)を鑑賞する。 ○職場体験学習「ワグワグ北菜」わくわく大采【総合】(全中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>北菜町</p>	<p>「北菜町教育大綱」 ○基本施策 「3(7)地域を学び、まちを支える人づくりの推進」</p>	<p>○「わたしたちの北菜町」地域副読本～まちの姿への活用(全小)</p>	<p>○全校遠足地域散策(特別活動(遠足))【(全小) ○国史跡:由良台場【国語】(小)…町について調べ、紹介する。 ○町のイベント・産業【総合】(全小) …大好き大采(地域に出身して調べ学習をしたり、地域の方にお話をさせていただく)やふるさと北条自慢(特産物調べ、風車についての学習)に取り組む。</p>	<p>○ふるさとの芸術家を生かした取組【美術】(中) …北菜みらい伝承館での企画展示(前田寛治他)を鑑賞する。 ○職場体験学習「ワグワグ北菜」わくわく大采【総合】(全中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>

「ふるさと教育」の実施状況について

<別添2-1>

<p>琴浦町</p>	<p>「琴浦町教育大綱」 ○基本目標 「ふるさとを愛し、未来を拓く琴浦っ子の育成」</p>	<p>○ふるさとマップ「わたしたちの琴浦町」(3年)の活用【社会・総合】(全小) ○郷土の歴史学習資料「わたしたちのふるさと琴浦町」(6年)の活用【社会・総合】(全小)</p>	<p>○全校遠足地域散策(特別活動)(遠足)【(小)】 …校外の豊かな自然や文化施設に触れることにより、郷土への関心を持つ。 ○「二十世紀栽培を体験しよう」【総合】(全小) …琴浦町の特産である二十世紀梨の栽培体験を通して、地域の人々の思いや願いを知る。</p>	<p>○職業体験学習「わくわく東伯」ロクワク赤崎【総合】(全中) …地元事業所で働くことで、地域をより身近に感じ、自分と地域社会との関わりについて考える。</p>
<p>米子市</p>	<p>「米子市教育振興基本計画(後期期間)の基本施策」 ○米子市の目指す教育基本理念 「ふるさとに学び 未来へつなぐ 学びのあるまち米子」</p>	<p>○市作成資料「ふるさと米子の先人に学ぶ郷土資料集」の活用【道徳】(全小中)</p>	<p>○「シビック・プライド」【総合】(小) …市の職員が小学校を訪問し、米子市が暮らしやすい日本一であることや米子市の文化・伝統について話を承る。 ○米作り体験【総合】(小) …地域の方と一緒に田植えや稲刈りを体験する。 ○「まち探検しよう」【社会】(小) …自分の住んでいる地域を調べ、地図を作成する。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(全中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>4 境港市</p>	<p>「境港市教育施策推進大綱」 「境港市教育振興基本計画」 ○豊かな心の育成 「地域に受け継がれている伝統や文化に関する学習の機会を設けるとともに、郷土の歴史や文化に対する理解を育む取り組みの推進」</p>	<p>○社会科副読本「私たちの境港市」の活用【社会】(全小)</p>	<p>○「ゆめっ子みみっくたんけんたい」～広めよう！境港の宝物～【総合】(小) …市内の観光客や商店街の人々等へのインタビュアーや市職員への聞き取りを通して、境港の魅力を紹介するポスター等を作成する。 ○「ゆめっ子環境プロジェクト」～人によさしい町づくり～【総合】(小) …市の職員等に市内のパリアフリーについて聞き取り、水木しげるロードのパリアフリー作戦を考える。 ○境港市綿(伯州綿)についての学習【総合】(小) …伯州綿の生産者等から話を聞き、伯州綿の良さや加工品等について学習する。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(全中) …市内すべての中学校が一斉に地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>南部町</p>	<p>「南部町教育振興基本計画(第Ⅱ期)～南部町教育ビジョン(平成30～35年度)～」 ○南部町の教育理念 「ふるさとを愛し、志高く、南部町から未来を切り拓くひとづくり～自立・共生・参画～」</p>	<p>○ふるさと学習副読本「わたしたちの南部町」の活用【社会・理科・生活・総合・まち未来科等】(全小中)</p>	<p>○「まち未来科」(小中) …小中一貫で、9年間を見通した学習。ふるさと愛着力・将来設計力・社会参画力・人間関係調整力を身に付け、ふるさとに誇りをもつことや未来の南部町を創っていくこととする心構えや態度等を培う。</p>	<p>○しごと☆未来体験(南部町版職場体験)【まち未来科】(全中) …7つの視点(①あいさつ・礼儀②責任感③あきらめない心④仕事の尊さ・誇り⑤新しい発見⑥感謝の心⑦共感)を共有した事業所で職場体験を実施する。</p>
<p>伯耆町</p>	<p>「伯耆町教育振興基本計画」 ○学校教育が目指す人間像 「ふるさとに誇りを持ち、一人ひとりを大切にす る人」</p>	<p>○町教委(作成冊子)探検！発見！伯耆町の活用(全小中)</p>	<p>○「伯耆1学習」【総合】(全小中) …町内のすべての小中学校で、町内の伝統・文化や自然等について調べたり、地域の方から話を聞いたりする。 ○米作り体験【総合】(小) …地域の方と一緒に田植えや稲刈りを体験する。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(全中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>

「ふるさと教育」の実施状況について

<別添2-1>

<p>日吉津村</p>	<p>日吉津村教育大綱 ○基本理念 「活力あるふるさと日吉津を支える人づくり」</p>	<p>○地域の方と農作物づくり(大豆・サツマイモ・白ねぎ)【生活・総合】(小) …地域と一緒に農作物をつくり、豆腐やきな粉に加工したり、収穫祭を行ったりする。 ○日吉津村民俗資料館・地域の文化財(蚊屋島神社)見学【総合】(小) …民俗資料館や地域の文化財等を見学する。 ○役場・議会訪問(小) …6年生が訪問し、日吉津村について学ぶ。</p>	<p>○ひえつ音頭(盆踊り)【特別活動】 …地域に伝わる踊りを全校で踊る。 ○ひえつのはら(ダンス)【特別活動】 …地域をPRするために作られた歌・踊りを運動会で踊る。 ○人材育成交流事業(沖繩交流)【教育委員会主催】 …沖繩交流を通して日吉津村のよさを再認識する。</p>	<p>○ひえつ音頭(盆踊り)【特別活動】 …地域に伝わる踊りを全校で踊る。 ○ひえつのはら(ダンス)【特別活動】 …地域をPRするために作られた歌・踊りを運動会で踊る。 ○人材育成交流事業(沖繩交流)【教育委員会主催】 …沖繩交流を通して日吉津村のよさを再認識する。</p>
<p>大山町</p>	<p>「大山町未来づくり10年プラン(大山町総合計画)」 ○基本計画 「第1章第1節 01 大山町で暮らすことに誇りを持つ子どもを増やそう」</p>	<p>○町教委作成冊子「わたしたちの大山町」(中学年用・高学年用・中学生用)の活用(全小中)</p>	<p>○大山の素晴らしさを伝えよう【総合】(小) …大山登山の事前学習として大山の自然や文化について、町の職員から話を聞く。 ○大山検定(小中) …町教委主催で、大山検定を実施する。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(全中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>5 日南町</p>	<p>「日南町教育振興基本計画」 ○日南町教育の重点目標 「ふるさとを愛し、豊かな人間性と生き抜く力を育み、次世代を創造する優れた人材を育成する」</p>	<p>○冊子「日南町ゆかりの人物 佐武林蔵、井上靖、松本清張、池田亀鑑」の活用(全小中)</p>	<p>○宝さがし【総合】(小) …日野川のオオササギやオオホタルの生体を調べたり、町の職員等から話を聞く。 ○りんご・米づくり【総合】(小) …農家の方と一緒にりんご・米をつくる。 ○ふる里まつりでのステージ発表【総合】(中) …町の文化祭(ふる里まつり)で劇や合唱等を披露する。(町の文化祭と中学校の文化祭のコラボ)</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>日野町</p>	<p>第2次日野町教育大綱 ○豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進 「日野町に誇りを持ち、日野町を愛する心」</p>	<p>○町教委作成資料「わたしたちのまち日野町【歴史編】」の活用【社会】(小) ○町保小中一貫教育推進委員会作成資料「わたしたちのまち日野町【自然編】」の活用【理科】(小・中)</p>	<p>○町内の公共施設、文化財及び自然等を学ぶ【社会・理科】(小) …町内の公共施設や文化財、自然等について調べ、町の素晴らしさ、歴史、文化、自然及び人々に触れる。 ○地域のボランティア活動(全小中及び日野高) …各地区で、平日の午後、小中高合同でボランティア活動を行う。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>江府町</p>	<p>「江府町教育大綱(江府町教育振興基本計画)」 ○基本施策 「ふるさと教育の推進」</p>	<p>○郷土学習資料「わたしたちのまち江府町」の活用【社会】(小)</p>	<p>○アントレプレナーシップ・スカラー短期集中プログラム【総合】(中) …地域に目を向け、町づくりの政策に活かすアイデアを生み出したり、地域の課題点等について調べたりし、地域の活性化の提案を中学生議会で行う。 ○サントリ一森と水の学校・ブナの実プロジェクト【総合】(小) …サントリ「森と水の学校」への参加と、学校で育てたブナの苗の植樹を行う。 ○江尾十七夜体験く太鼓・こたいち踊り・灯ろう作り・相撲>【生活・総合】(小) …地域の方を講師に招き、体験をする。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>

平成29年度 <高校-地域>が連携した事業一覧

<別添2-2>

区分	地域連携の事業名	概要
鳥取東	「鳥取学」推進事業	大学、産業、自然、社会等のコースに分かれ、地元鳥取の産業界・研究施設等を訪問し、第一線で活躍されている方々から話を聞き郷土愛を育むとともに県内の産官学の諸状況について見識を深める。事前学習として、関係の事業等への理解を深め、また、事後学習として報告発表会を行う。
	地域ふれあい推進事業	生徒が自ら企画・実行し、考えて行動する力を育成する。 ・障がい者福祉施設の訪問や高齢者の方、町内会の方等との交流。 ・地域の中学校や小学校へ出向いて学習支援 ・県外生徒との生徒間交流(東日本震災で被災した地域)
鳥取西	思索と表現(フィールドワーク)	「グローバル化の中の地域創生」を課題研究のテーマに、地域貢献・地域活性化を図るための考え方や広範な活動状況、今後の展望を各分野で学ぶことで、地域の課題の本質を明らかにし課題解決の方向性を探る。 災害に強い街づくりを考えよう…幼稚園・保育園・介護施設・医療機関訪問 国際貢献を考えよう…鳥取大学国際交流センター、鳥取大学乾燥地研究センター訪問 若桜鉄道を盛り上げよう…若桜鉄道若桜駅、若桜観光協会、宿場散策等 鳥取の社会福祉を考えよう…さわやか会館訪問 ものづくりを考えよう…鳥取大学ものづくりセンター訪問 鳥取の医療看護を考えよう…鳥取大学医学部米子キャンパス訪問
鳥取商業	地元企業とのコラボ商品の開発	地域や企業との連携や商品開発、企画販売、情報発信などをとおして、地域貢献や地域活性化を図る。菌蕈研究所(鳥取市)と連携しながら県産原木しいたけを素材としたレシピ開発。「きのこ王国鳥取県」の広報・普及活動を地域や生産者と連携しながら進める。 ・地産地消の推進を図るとともに、企業との協働により、しいたけを使った新商品の開発や弁当作りを行う。鳥商デパートや鳥取きのご祭り、県総合芸術文化祭等各種イベントへ向けた商品開発、販売。
	企業人による面接力向上	鳥取青年会議所会員企業の若手経営者10名程度が、3年生就職希望者約50名に対して、地域社会に貢献する職業人としての心構えなどについて講話、面接指導を受ける。
	小高・中高連携事業	地域の中学校との連携を強化するため中学校への出前授業を実施。小学校の行事等への参加、生徒間交流、中学校及び商業高校の学習内容に触れることで相互理解、関心を高める。
鳥取工業	テクノボランティア	学習した技術・技能を活かして地域社会に貢献することで、生徒の成就感や学ぶ意欲を高める。
	地域企業連携事業	鳥取テクノヒルズに加盟し、定例会などに参加することにより、広く情報を集め、地域の企業の活動を学び、地域産業と連携するための方策を探る。
	ものづくり講演会	鳥工の卒業生で産業界等で活躍する企業人、鳥取にゆかりのある優れた技術を有する企業・技術者・職人による講演会を行い、地元鳥取が誇る技術や技の伝承の大切さやものづくりの素晴らしさ、誇りを再認識する。(株式会社中井修 営業部課長、スタジオブライトリング技術トレーナーなど)
	キャリア教育支援	進路ガイダンスを行い、地元産業界から外部講師を招聘し、生徒及び保護者に各産業界の業務内容や実態、それぞれの業界に進むために必要な学習内容について講演を行う。
	鳥工TEC	小・中学生や地域住民を対象にものづくり体験・おもしろ科学実験をとおしてものづくりや実験の楽しさを体験してもらうとともに展示等により各科での教科内容を理解してもらう。

鳥取湖陵	地域ときらり	<p>「ふるさと鳥取」、地域を愛し、育てる心と態度を育成する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京新橋のアンテナショップでの出品・販売 ・プランター及び花壇装飾などを設計・製作し、地域の施設(JR鳥取大学前駅)等で展示 ・鳥取県食のみやこ推進課と連携して、ポスター等の作成 ・地域の農産物生産者生産者と協力して商品開発を進めていく。 ・地域の中学校への出前授業、ものづくり体験学習を行う ・因幡の手づくりまつり等のものづくりを体験する地域イベントの参加
	地場産プラザ「わったいな」における生産物販売実習(土曜授業等実施事業)	<p>生産から販売までの一貫した学習を完結させ、食品流通に関する学習の理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の生産物、清涼飲料水、野菜類などの販売 ・年間6回 ・参加生徒:1回8名程度(食品システム科・緑地デザイン科2・3年生希望者)
鳥取緑風	福祉施設等でのボランティア	<p>通信制課程の生徒が社会に関心を持ち、主体的に社会をより良い方向に改革していきけるような、社会力を育成する</p>
青谷	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・青谷学(地域への関心を高めるとともにまなびを深め、主体的に生きる力を養う) ・青谷地域美化活動 ・青高活性化活動 ・地域の保育園との連携 ・ボランティア活動の推進
岩美	イワッツ・プロジェクト	<p>岩美町内にある唯一の高校として、積極的に地域の活動に参加したり、地域に働きかける活動を行うことで生徒に岩美の地、そして自らの地を意識させ、地域から愛される高校を目指す</p> <p>①高めるイワッツ・プロジェクト!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸ジオパーク学習の取組…ジオパークガイド養成講座を受講し、ジオパークの現地学習を行う。 ・「イワッツ・ミッション」の取組…地域の方にゲストティーチャーとして関わってもらい、活動の成果を地域に発信する取組 :テーマ「道の駅を盛り上げよう」「銀山を岩美町の観光地に」「網代地区の活性化」「岩美町花いっぱい運動」「岩美の食材を用いた商品開発」「岩美の魅力を発信」「東地区の活性化」 <p>②つながるイワッツ・プロジェクト!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の学校…野外活動を学んだ生徒が地域の小学生と交流。 ・山の学校…農業を学んだ生徒が地域の小学生と交流。 ・浦富マラソンへの参加。 ・岩美町内清掃活動。 ・岩美町内小中学校との部活動を通じた交流。(茶道同好会・吹奏楽部・女子バレー部等) <p>③広げるイワッツ・プロジェクト!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩美高校アグレッシブPRプラン…広報誌「IWATS TIMES」の作成等 ・ジオパークを広げる…地域と協働して活動している県内外の高校と交流を通して、ブラッシュアップを図る。 ・海外に広げる…韓国江原道鉄原高校との国際交流を通してグローバル化への意識を高め、地域を見直すきっかけとする。
八頭	八頭高愛し愛され運動	<p>地域や個人を尊重しながら協働する力をつけ、学校全体が生徒会自治活動に積極的に参画することを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でのボランティア活動の企画実施(地域清掃活動、挨拶運動) ・地域のネットワークづくり(部活動による部の特長を生かした地域貢献活動) ・地域の高齢者福祉施設などへ華道部、書道部などが訪問、交流
	八頭タワー充実事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「八頭高ライフ」中学生体験 ・教科でつながる八頭タワー(数学) ・体育コース「地域の小学生との交流」

智頭農林	地域とつながる林業人材育成プロジェクト(県版SPH事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・長期就業体験(デュアルシステム)の導入と実践(森林組合、木工所等で5月から10月(考査期間、夏季休業中は除く)の毎週金曜日に就業体験を行う。) 現場を合理的に理解して、実践的な態度と技術を身につけ、「スペシャリストとして地域に貢献できる人材」を育成する。 ・地域理解のための基礎的科目の開発と実践
	地元商店街における生産品の販売	智頭駅近くの空き店舗を活用して、自校で生産した農産物などを店舗(ちのりんショップ)で販売。地域の農家・企業と連携し、計画的な生産と仕入れに関する学習に取り組むとともに、地域の活性化を図る。また、智頭町百人委員会で取組の報告を行う
	特色ある専門教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・棚田の保全活動や活用方法について学習する ・智頭駅、智頭病院など地域の庭園を管理することで、学びの意欲を高める ・地元産業藍染めを学び、地域の保育園児や高齢者との藍染め交流を実施 ・地域企業の専門技術を学び、地域の特産物を生かした製品開発を目指す
	進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地元商工会および商工会所属の地域企業による説明会の開催 ・地域企業へのインターンシップ
	「ちのりんショップ」の実施(土曜授業等実施事業)	<p>地元商店街にショップを開設し、地域の活性化、生徒の経営感覚及びコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校生産物及び地元生産物の販売 ・5月から12月(毎月1回)
	技能検定試験合格を目指して(土曜授業等実施事業)	<p>造園工事2級・3級試験に向けて、県内の造園家を講師に招いて技術指導を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期: 4~8月
	曲げわっぱ教室(土曜授業等実施事業)	<p>智頭町と連携して、地域の人を対象とした曲げわっぱ教室で指導に関わることで、生徒の学習意欲を高めるとともに、地域の人への生徒理解に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・智頭町との打合せ ・曲げわっぱ教室の実施(2学期に3回程度)
倉吉東	野鳥の生態調査(土曜授業等実施事業)	<p>鳥取県東部における「野鳥を中心とした生物多様性を探究する」研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バンディング技術」を活用した、渡り鳥の生態を調査 ・5月から11月(毎月土曜日1回) ・参加生徒: 森林科学科3年生3、4名
	「倉吉東高のボランティア」活動	社会の構成員として自らの役割の自覚や、周囲の人々との連帯感を意識させることで、共に生きることの大切さを認識する
倉吉東	「グローバル」人材育成	<p>山陰地方の歴史、文化、最先端の研究、技術等に直接触れる(現地視察)とともに、講義と解説を通して理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「株式会社バルコス」、淀江町「古代山陰と地域資源活用」、米子市「地域イノベーション戦略支援」、「地域ブランド開発 食のみやこ鳥取県の取組」など
倉吉東 定時制	じげ産業文化探訪	鳥取県のじげ産業や自然・文化等に触れ、親しみながら、地域に対する理解や帰属感を深める。(大江の郷、砂の美術館)
倉吉西	グローバル人材育成事業	<p>社会や地域と関わることで、社会や地域の中における自分のアイデンティティや存在価値を発見させるとともに、地域で行われている様々な行事や取組に参加したり情報収集したりすることで、地域の良さや課題を発見し、将来地域で生きる自覚を高めるとともに、将来の生き方を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報の収集・展示、活用。県内、地域の特産品や話題、文化財等の紹介・展示(図書館) ・地域振興に係る講演会(市町の地域振興課の職員)、地域振興提言検討会の開催(チャレンジグループ活動) ・地域貢献活動の実施。(学校周辺の清掃活動、地域の方と一緒にあいさつ運動等) ・フィールドワーク(鳥取(県庁を含め、県内企業を訪問))

倉吉農業	農産物販売所づくり	校内に農産物販売所をつくり、地域の方に生徒が作った農産物を販売する。(年間13回予定) 学校での生産物を、地域のイベント等で地域の方に直接販売し、交流を深める
	異世代との交流推進	地域交流などを積極的にいき、地域の方へ農業の楽しさ、厳しさ、倉吉農業高校の理解を深めてもらい、また、生徒のコミュニケーション能力の向上につなげる。 ・「おうまさんといっしょ」地域のまつりや小学校などに出かけ、乗馬交流を行う。 ・「たんぼの学校」生徒が指導者となり、小学生と一緒に田植え、稲刈り等を実践する。 ・「はなとやさい」近隣の保育園、高齢者介護や障がい者施設と交流し、野菜や花の栽培、収穫を行う。
	課題研究	高齢化が進み、買い物が必要な地域に出向き、本校の農産物を販売。(年間10回程度)
倉吉総合産業	地域と連携した「課題研究」の充実	「開かれた学校」として、地域との関わり合いを持ちながら、各種イベントを立案・計画・実施することで、社会の変化に対応できる企画能力や実践能力を育成する ・チャレンジショップくらそうやの企画・運営 ・くらそうサロン(福祉施設等を訪問し、地域の方と交流)
	中学生工作教室	地域の中学生に電気科のもっている設備や技術力を提供して、ものづくりに興味を持つ中学生を育てる取組。(夏季、冬季休業中、年2回)
	読み聞かせボランティア	地域の子どもと絵本の読み聞かせをとおして交流することにより、ボランティア活動への関心を高め、社会性を培う。(上北条児童クラブの小学1, 2年生対象、年4回)
	高齢者家庭との交流	電気科3年生が、高齢者家庭を訪問し、電気配線及び器具の点検・保全・正しい使用法の指導をする。
	チャレンジショップ「くらそうや」 (土曜授業等実施事業)	商品販売実習や商品開発をとおして、ビジネスに必要な業務を合理的に行う能力を育成する。 ・独自ショップの企画・運営、講師による指導助言 ・9月から11月(10回程度) ・参加生徒: ビジネス科3年生
鳥取中央育英	地域探究の時間	地域に貢献する人材育成を実現するための取組 ・地域創造を軸に12のテーマを設定し、北栄町を中心に中部地区全域から「地域の人材」を求め(25人程度)指導を受けながら、フィールドワークを通して探究活動を行いその成果をまとめ発表する取組を行う。この活動を通して生徒が地域の魅力や課題を探究し、将来、自ら地域リーダーとなりふるさとを切り拓いていく志を立てる。 ・従来の「職場体験学習」を普通科のキャリア教育としてふさわしい内容に発展させ、「キャリア探究」に取り組む。地域産業の各分野(農・工・商・観光・医療・福祉・教育等)のブースを作り、説明を受けることを通して、進学・卒業後の生き方を考える機会とし、将来ふるさとに帰り、地域リーダーとなることをイメージさせる。
	夢ゼミ	地域で活躍する各分野のスペシャリストに依頼して、年間10回程度のミニ講演会を開く。参加者は有志生徒。
	地域創造ハイスクールサミット (学校連携チャレンジサポート事業)	隠岐島前高校をはじめ県内外の7校で「高校生が考える地域創造」をテーマに提言や意見交換を行う。 各校の取組を特殊な地域環境における事例と捉えずに、全国共通の課題として一般化することにねらいがある。高校生の意見を全国に発信したい。

米子東	ふるさと鳥取学講座 (土曜授業等実施事業)	ふるさと鳥取を知ることにより、ふるさとに対する誇りと自信を醸成する。また、知的好奇心と学問に対する興味・関心を喚起する。 1. 中海 2. 鳥の劇場 3. 本校 4. 青谷上寺地遺跡 5. 本校 (7~2月の土曜日)
	「みんなで子育て体験」事業	1年生全員が近隣の保育園を訪問し、保育体験を実施 ・社会の一員として、未来の親となるためにも「みんなで子育て体験」を促進することで豊かな人間性やコミュニケーション能力、キャリア意識の育成を図る。
米子東 (定時制)	自己実現力養成「職授業」	地元企業見学 生徒がアルバイトをしたことのない企業や事業所を教職員とともに訪問して、現場の仕事や従業員の様子を見聞して今後の進路選択を考える機会とする。
	定通教育充実事業	心身を育む「食」事業 ①もちつき体験②郷土料理作り体験 ・伝統的な行事や郷土に伝わる行事を体験することにより、食文化の歴史とその意味を知る。 「子どもの発達と保育」を現場から学ぶ ・保育士、専門家の話を聞き、乳幼児に対する理解を深める。
米子西	中高連携による芸術体験学習 (土曜授業等実施事業)	地域の中学校と書道&美術のアートパフォーマンスをとおして作品を完成させるとともに、中学校との交流を図る。
	リサーチリテラシー育成事業 (土曜授業等実施事業)	ふるさとの自然をフィールドワークし、正解が準備されていない自然現象に触れ、調査・研究の手法を体験することによって、リサーチリテラシーを育成すると共に、フィールドで活動する人との交流を図る。
	地域と連携した地域学習「ベイセイよなご塾」 (土曜授業等実施事業)	関係機関と連携したフィールドワークを通して、地域の歴史・経済・政治を学び、一人の地域住民としての社会認識を深めるとともに、地域に貢献する人材育成の一助とする。 ・米子の歴史を学ぶ(米子城周辺史跡) ・米子の司法を学ぶ(米子地方裁判所) ・地域の経済を学ぶ(江府町と地元企業)
	みらいチャレンジ活動	「総合的な学習の時間」を活用 ・地域の課題を設定、解決、地域イベントへの参加
米子	テーマ学習(社会人基礎力育成)	「米子市中心市街地活性化計画」を考えるグループ「米×米プロジェクト」と連携して、米子市中心市街地活性化基本計画をもとに、講演会、現地でのフィールドワーク、発表会を行い、生徒の地域社会に対する理解を深めさせ、職業観や社会人基礎力の育成を図る。
	地域連携推進プログラム	花壇用草花植栽活動 ・農業の授業で育てた花を、JR米子駅や近隣の公民館、米子市文化ホールへ提供している。 交流事業 ・ハイホットダンスフェスティバル(地域の学校のダンス部とのダンスを通じた交流) ・近隣の保育園児、高齢者と一緒にご飯作り交流会を実施。 ・吹奏楽部員が近隣の保育園児と音楽を通して交流を実施する。 ・UTA同好会が近隣の老人保健施設を訪問し高齢者と交流を行う。
米子南	地域との交流を通じた人材育成	地域との関わりを深め、コミュニケーション力育成を図り、将来の社会を担う人材を育成する ・学習活動発表会 ・生活文化科調理コース成果発表 ・中心市街地活性化事業 ・地元保育園への定期的な交流
	米南地域おこしプロジェクト	地域の発展に寄与する人材づくりのため、地域社会に関心を持ち、活性化について自ら考え、調査する能力を育成する ・地元生産者等と連携し、地域の食材を活用した商品の開発 ・地元主催の開催イベントに参加、開発商品の試食提供、販売実習 ・大都市圏での販売実習

米子工業	地域への貢献	<p>実習で養った技術を発揮し作成したものを地域社会に提供することで、生徒に達成感を実感させ、学習効果や技術の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育園、小中学校でのもの(おもちゃ)づくり等の出前授業及び交流 ・公共施設や地域の住民の家での電気工事(テクノボランティア) ・ゴミストッカーを作成し地元自治会に寄付、駐車場のライン引きやベンチの制作など
米子白鳳	豊かな心育成事業 (地域美化・環境保全活動)	<p>地域の一員として、貢献する心を育て、地域の取組と連携した環境保全活動に積極的に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の地域美化活動 ・マツムシソウ、ヒガンバナの植栽活動
	定通教育充実事業 (チャレンジものづくり体験)	<p>地域の伝統文化や自然に触れる体験を積み重ねることで、円満な人間関係を築く能力、社会に適應するための技術を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつまいもの植付・収穫・会食を通じた園児との交流 ・銭太鼓、傘踊り体験など
境	境港地域連携プロジェクト	<p>小学生との交流事業(境高スクールプロジェクト) 本校生徒が学習・スポーツ・創作活動等を通して地元小学生と交流する。</p>
		<p>グレードアップ学習会 地域向けの学習会等を企画し、講座を設ける。</p>
		<p>地域からの要望に応える生徒活動 地域活動での書道パフォーマンスや茶会などを通して地域の活性化に寄与する。 地域向けの学習会等を企画し、講座を設ける。</p>
		<p>地域・全国へのPR活動 中学生向けのパンフレットや部活動紹介動画を作成し県内外に本校をPRする。</p>
境港総合技術	鳥取県版SPH事業 (学科間連携事業)	<p>総合技術フェア ・各学科の学習成果の発表、展示、実演を地域の方々に発信する</p>
	県版SPH事業 (地域貢献と役立ち感の醸成)	<p>地域貢献と役立ち感の醸成を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余子駅周辺の環境美化活動 ・地元公民館と連携した「魚に親しむ調理教室」の開催 ・地域住民や境港市からの要望に対し、ゴミストッカーやベンチの制作 ・近隣公民館に対し、電気機器レスキュー隊を結成し、トラブルを解消 ・高校生出前授業(中学生対象「電気工事教室」、小学生対象「小物づくり・介護体験」)
	県版SPH事業 (地域とつながる水産教育 ～さらなる連携を目指して～)	<p>地元水産業や県水産振興課と連携しながら、生徒にさまざまな体験をさせることを通じて、水産業への関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖合漁業体験(県内漁業協同組合受入)、沿岸漁業体験(県内漁業協同組合受入) ・栽培漁業を学ぶ(県内栽培漁業センター等受入) ・地元水産業を学ぶ(地元水産加工企業や県内市場等見学) ・地元特産の水産物をより美味しく食べる方法(地元の講師を招聘し、講義・実演・実習を行う) ・食のみやこ鳥取県のうまさを売り込め！蟹取県PR隊(山陽・京阪神方面の物産展で販売・振舞い・PR)
	鳥取県版SPH事業 (ふれあいをとoshしたコミュニケーション能力の向上)	<p>様々な世代・立場の方々と触れ合いでコミュニケーション能力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉施設で、子ども・高齢者・障がいのある方々との交流
	地域とつながる土曜授業 (土曜授業等実施事業)	<p>地域のイベントに参加し、それぞれの学科の特性を活かした活動を行うことにより、地域連携・地域貢献・情報発信を果たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッチプール(7回) 海洋科希望者10名程度 ・魚の神経締めPR活動(4回) 海洋科・電気電子科希望者5名程度 ・実習製品販売(11回) 食品・ビジネス科2・3年希望者10名程度 ・交流ステージ出演、ケアコンテスト運営補助(3回) 福祉科2・3年希望者10名程度 ・講師招聘(1回) 食品・ビジネス科3年38名

日野	農業科における地域交流活動	地域に開かれた学校づくりを推進し、農業・農村が持っている多面的機能を活用し、地域住民の生涯学習の支援を行う ・鏡陵大学(学校農場を開放して、地域住民に対し、野菜の栽培や加工の体験機会を提供する) ・ボランティア団体と共同してそば打ちや餅つきを行い、地域の福祉施設や独居老人宅に配る ・地域の小学生に田植え等の農業体験活動の機会を提供する。
	日野郡の新たな魅力発掘・発信事業	日野郡内でフィールドワークを行い、日野郡の歴史、産業、観光などを研究し、ポスターやパンフレット、CMなどを作成し、日野郡の観光プランや活性化プランを考える
	地域リーダー人材育成事業	和歌山大学の大学生と連携し、地域農家の調査を行い、農業経営に対する実態調査を行う。より高度な調査方法や分析方法、地域住民とのコミュニケーションの在り方などを学ぶとともに、地域との継続的な連携により、日野町の活性、再生の方策を探る。
	日野高ショップ (土曜授業等実施事業)	アグリライフ系列の生徒が製造した野菜や花等の農業生産物及び加工品をビジネス系列の生徒が販売し、地域との交流を重ねることで、生徒の学習効果と人間力を高める。 ・年6回開催。(5月、6月、7月、8月、10月、12月) ・日野町を中心に、日野郡全3町に出店。 ・参加生徒は、ビジネス系列とアグリライフ系列の生徒
	出会い！発見！農業チャレンジャー事業	地域農業の現状を見学し体感することで、農業への理解を深めたり、農業経営者・農業関連産業事業者との意見交流を行うことで、生徒の進路選択の一助とする。
	地域と繋がるスポーツ・芸術事業	授業や部活動において学んだ技能等を、小学校、中学校及び地域へ還元することで、地域貢献を行うとともに、当該活動を通じて生徒の自尊感情や自己有用感を高める。 ・ソフトテニスを通じた小学生との合同練習や合同対戦試合 ・地域の中学生との合同の吹奏楽講座及び演奏会 ・保育所、高齢者施設又は障がい者施設への実習及び訪問演奏
	花を通じた地域交流	アグリライフ系列の生徒が栽培した草花を地域の方々との共同作業をしながら、地域の病院や役場、駅に植栽し、植栽方法や管理方法についての説明も行う。
	地域食材を生かした魅力創造プロジェクト	日野郡の食材を調査し、歴史・産業・観光などに関連した商品開発を行う。また試作品を地域の事業所にプレゼンテーションし、地域と連携しながら商品化する。

ふるさと教育の実施状況について

【私立中, 高等学校】

学校名	ふるさと教育実施状況	平成 29 年度実績
青翔開智中学校	<p>①中学 1 年・総合学習 鳥取市に美術館を創ろうというテーマでプロジェクト学習を実施。鳥取市内のどのエリアにどのような内容の美術館を建てるかを企画。鳥取銀行による収支計画授業や鳥取県立博物館長の講演会も実施。優勝チームとなった「鳥取城美術館」の企画を駅前のギャラリーそら様で一日オープン。</p> <p>②中学 2 年・総合学習 課題解決型職場体験を実施。訪問先企業の課題を生徒達が自ら発見し、課題を解決するアイデアを社長へプレゼンする。泊綜合食品様に提案した「カラフルらっきょう」は実際に商品化され話題となった。</p> <p>③中学 3 年・総合学習 SDGs を切り口に鳥取の社会課題を解決する。チームごとに SDGs に直結するテーマを決定し、地域の社会課題を解決するプロジェクトを進める。</p> <p>④中学 2 年・技術 稲葉幼稚園、かんろ保育園にふさわしい木工椅子を作ることをテーマにプロジェクト学習を実施。</p> <p>⑤中学 3 年・技術 大丸屋上の「まるにわ」に置くためのプランター植栽企画を実施。 大丸様へフィールドワークし、企画した植栽を学校で育成。まるにわに持ち込み関係者へプレゼンを実施。</p> <p>⑥中学 1 年・道徳 鳥取県立鳥取盲学校とコラボしフロアバレーの授業を実施（計 8 コマ）。鳥取県立鳥取聾学校とコラボし手話の授業を実施（計 5 コマ）。</p> <p>⑦中学 1 年・理科 地域の防災避難計画の作成。日本海新聞の記事や鳥取県のホームページから鳥取県中部地震の情報をもとに避難計画を作成した。</p> <p>⑧中学 1 年・社会 縄文土器と弥生土器の違いについて埋蔵文化財センターにて本物の土器の破片の観察を行った。</p>	<p>① 中学 1 年 42 名が 10 チームに分かれて実施。期間は 1 年間。 *H30 年度は星取県とコラボ。星に関する施設・イベントを企画中。</p> <p>② 中学 2 年生 42 名が 10 チームに分かれて実施。訪問先企業は鳥取青年会議所様を選定。期間は 4 月から 10 月。職場体験は 5 月中旬に 2 日間実施し、その後学校の総合学習の時間を使って提案モデルを構築。</p> <p>③ 中学 3 年生 32 名が 8 チームに分かれて実施。実施期間は 1 年間。</p> <p>④ 中学 2 年生 42 名が 10 チームに分かれて実施。実施期間は 1 年間。 *H30 年度は公立鳥取環境大学をテーマに椅子を作成中。</p> <p>⑤ 中学 3 年生 32 名が 8 チームに分かれて実施。実施期間は 4 月から 10 月。</p> <p>⑥ 中学 1 年 42 名。</p> <p>⑦ 中学 1 年 42 名。4 人 1 チーム（1 家族と想定）</p> <p>⑧ 中学 1 年 42 名。</p>
湯梨浜学園中学校	<p>○中 1 華道体験：地元の華道の先生から華道指導を受ける。</p> <p>○中 2 職場体験：地元企業にインターンシップを行う。</p> <p>○中 2・高 1 茶道体験：地元の茶道の先生から茶道指導を受ける。</p> <p>○中 3 卒業研究：地元の話題・課題について中 1 からテーマ選択して中 3 にて報告会を行う。</p> <p>○中学キャリア教育講演会：本校保護者（地元で勤務）に職業観を講演していただく。</p>	<p>○中 1 華道体験：1 年生 34 名が参加した。（10/30）</p> <p>○中 2 職場体験：2 年生 24 名が参加した。（7/24～28）</p> <p>○中 2・高 1 茶道体験：中 2 年生 24 名、高 1 生 25 名が参加した。（10/31）</p> <p>○中 3 卒業研究発表会：中 3 生 22 名が参加した。（3/10）</p> <p>○中学キャリア教育講演会：中学生 80 名が参加した。（12/9）</p>
米子北斗中学校	<p>○中学校 2 年生～企業見学 （平成 30 年度より） 今年度は王子製紙を見学</p>	

学校名	ふるさと教育実施状況	平成 29 年度実績
鳥取敬愛高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○県民の日パネル展示（遠藤董） ○郷土の人物を教材として授業 ○公民館でのボランティア活動を通して交流活動（地区運動会・公民館まつり等） ○県内企業の魅力体験事業 今井航空機器工業、鳥取信用金庫 ○鳥取市企業見学会（紳士服製造 グッドヒル） ○社会部 郷土研究活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○9/5～12 展示 ○授業 2 年生 2 クラス（9/12） ○文芸部、茶道部ほか 約 20 名 ○1・2 年 70 名 ○就職希望者 25 名
鳥取城北高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○「総合的な学習の時間」授業（普通コース 1 年） 「企業キャンパスツアー」 生徒の進路希望に合わせて地域の保育園、病院、企業、大学等を学年挙げて訪問 「商店街 FW」 商店街に向き課題を見出し解決するためのアイデアをブラッシュアップ など ○「家庭」授業 授業で茶道を行っており、そこで学んだことを活かした茶席を地域のイベント等で開催 ○書道部「公民館主催のまつりにおける書道パフォーマンス披露」 公民館、まちづくり協議会の依頼を受け、書道パフォーマンスを披露。また、地域の方が参加する「自分たちの住む地域の好きなどころ」をテーマにした寄書きパフォーマンスも実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「総合的な学習の時間」授業 ・1 年生 160 人が参加（6 月） ・1 年生 160 人が参加（10 月） ○「とっとりえきなか・えきまえ GW フェスタ 2017」3 年生 60 名参加（4/29）、「第 8 回鹿野街道まつり」3 年生 60 名 など ○「城北文化祭（城北地区公民館）」 1, 2 年生 15 名が参加（10 月 21 日） ・「醇風地区ふれあいまつり」 1, 2 年生 15 名が参加（11 月 5 日）
青翔開智高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ①高校 1 年・総合学習 【H30 年度実施】鳥取県の人口減少で生じる課題を AI を使って解決する。市内へフィールドワークを実施して課題発見を行い、課題の解決方法に AI の原理を入れアイデアを構築する。鳥取県産業振興課、鳥取大学からの協力もあり AI のプロトタイプ作成も実施予定。 ②高校 1 年・英語 【H30 年度実施】公立鳥取環境大学から出張英語村を招き、生徒とのディスカッションを実施。（9/4 台風により延期） ③高校 1 年・現代社会 鳥取県に住むこと、都会に住むことどちらにメリットがあるか。ファイナンシャルプランナーを講師にむかえ講演会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 高校 1 年生 37 名が 9 チームに分かれて実施。実施期間は 1 年間。 ② 高校 1 年生 37 名。2 コマ。 ③ 高校 1 年生 42 名。2 コマ。
倉吉北高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ 地域企業での職業体験 ○高校生レストラン 地域住民の方を対象とし、生徒が企画運営まで行うレストラン 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ（2/14～16） 2 年生（普通科健康総合コース）70 名。 ○高校生レストラン 調理クラブが運営 1/20、3/3 実施
湯梨浜学園高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○高 1 保育実習：地元の保育園に出向いて保育体験を行う。 ○中学地域清掃：地元の清掃を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○高 1 保育実習：高 1 生 25 名が参加（2/16） ○中学地域清掃：中学生 80 名が参加（6/14）
米子北高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○校外地域清掃活動 生徒会が企画して本校生徒が学校周辺地域をゴミ拾いを中心に清掃活動を行う。 ○皆生トライアスロンボランティア（第 1 回大会より参加） ○米原祭参加 米原公民館主催の行事に吹奏楽部が出演し、地域の方々へ演奏を披露する など ○幼稚園サッカー教室 本校サッカー部員が幼稚園へ出かけていき、サッカーを通じて園児と触れ合う。 ○福米公民館祭、福米東地区運動会参加 看護専攻科生がボランティアで医務業務の手伝いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校外地域清掃活動 本校希望生 150 名参加（9/25） ○第 37 回皆生トライアスロンボランティア 130 名の希望生が参加 ○米原祭参加 吹奏楽部が参加し演奏（7/23） ○東みずほ幼稚園 25 名参加（6/30）、みずほ幼稚園 25 名参加（11/23）、大山青年の家イベント 25 名参加（4/30）など ○福米公民館祭、福米東地区運動会参加 本校看護専攻科生 2 名ずつ参加

ふるさと教育の実施状況について

【高等教育機関】

学校名	ふるさと教育実施状況	平成 29 年度実績
公立鳥取環境大学	<p>○地域志向科目の充実 実際に地域に出かけ、地域の人々と関わり、実践的な問題発見・解決力を養う「プロジェクト研究」を行い、その中で特に鳥取県東部地域をフィールドとする「麒麟プロジェクト研究」を実施。</p> <p>○「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」 鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学、鳥取看護大学および国立米子工業高等専門学校が連携し、地域に愛着を持つ地域指向の人材育成、卒業生の県内就職や地域定着を図る取組を実施。</p> <p>○「岩美むらなかキャンパス」開設(H30.4) 岩美町大谷に、岩美むらなかキャンパスを開設し、岩美町において、地域研究や地域活動の拠点利用を促進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学生が2年次までに地域連携型の課題に取り組む「プロジェクト研究」、全学生が履修する「鳥取学」を開講。 ・10月25日、鳥取環境大学において、知事講義を実施し、約350名が受講(タイトル「小さくても勝てる 鳥取県の挑戦」) ・とっとりインターンシップ参加学生数は、夏季休暇中に54名(H28 19名)、春季休暇中は15名(H28 20名)と平成28年度から倍増。 ・人間形成教育科目「基礎インターシップ」、専門科目「インターンシップ」を開講。 ・「キャリアデザインB」において、外部講師を地元の企業等から招聘。 5/12 鳥取市職員、5/26 株式会社鳥取銀行行員 6/9 寿製菓(株)社員、6/23(株)小銭屋社長 等 ・「地域金融ビジネス」において、外部講師を地元の金融機関等から招聘。 6/7 鳥取信用金庫、6/21 とりぎんリース(株) 6/28(株)エヌケーシー、7/5 とっとりキャピタル(株) 7/12 鳥取県信用保証協会、7/19 鳥取県企業支援課
鳥取大学	<p>○「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」 鳥取大学が中心となり、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学、鳥取看護大学および国立米子工業高等専門学校が連携し、地域に愛着を持つ地域指向の人材育成、卒業生の県内就職や地域定着を図る取組を実施。</p> <p>○地域志向教育科目の推進 授業形式の改善、新たな教材開発に取り組むとともに、平成29年度以降入学する全学生に選択必修化するなど、地域志向教育科目の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とっとりインターンシップ参加学生数は、平成28年度284人であり、平成29年度の「とっとりインターンシップフェスティバル」には約300人が参加。 ・県内企業との共同研究に学生が参加する「学生参加型共同研究支援事業」には、平成28年度は10件、平成29年度は8件採択。 ・県内企業見学シャトル便を運行し、37社、186人が利用。
鳥取短期大学 鳥取看護大学	<p>○県内インターンシップ、マッチングの実施 インターンシップ科目、ビジネス、栄養、保育等、各専門分野の実習等を通じ、仕事や職場に対する理解を深め、学科別キャリアガイダンス、「保育学生のための職場説明会」などを通じ、県内就職意欲の向上、就職に繋げる。</p> <p>○地域志向科目の実施 教養科目「現代鳥取学」で地域課題と解決方法の理解を深め、専門科目で地域と連携し教育活動を展開。</p> <p>○「まちの保健室」の実施 鳥取看護大学生がボランティアとして、地域住民および関連組織等との関わりを通して、看護実践する力、地域とともに歩む力を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月12日、中部で活動する企業関係者をパネリストに迎え、COC+セミナーを開催。(約60名参加) ・地域志向科目350名、キャリア科目350名、インターンシップは565名が参加。 ・「まちの保健室」は、毎年全看護学生が参加し、中部地震後の災害ボランティア「まちの保健室」in倉吉市役所など学生の主体的な地域活動が展開。
米子工業高等専門学校	<p>○オープンファクトリーの実施 本科低学年(1～3年生)の学生向けのプレインターンシップとして、身近な地元の企業を見学し、業務内容の理解や仕事における心構え等を学ぶ。</p> <p>○企業ガイドブックの発行 米子高専振興協会員企業を紹介する「企業ガイドブック」を発行し、本科3・4年生および専攻科1年生に配布し、学生の地元定着への意識醸成を図る。</p> <p>○地域協働教育、地域協働型インターンシップの実施 間伐材や空き家の活用を題材とした地域指向型の創造性教育を実践。 また、地域の企業技術者を講師として招聘し、地域企業における仕事と技術に関して理解を深める授業を実施し、本科4年生と専攻科1年生は夏休みにほぼ全員がインターンシップに参加。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年1月13日、「米子高専生のための進路研究セミナー」を米子コンベンションセンターBIG SHIPで開催し、260ブース、本科3・4年生、専攻科1年生及び保護者の計339名が参加。 ・米子高専COC+技術セミナーとして、「iOSアプリケーション開発入門」(12月17日)等を実施。